

SHIP SECURITY ADVISORY No. 03-25J

To: Owners/Operators, Masters, Company Security Officers, Recognized Security Organizations

SUBJECT: THREATS TO SHIPPING IN THE STRAIT OF HORMUZ REGION

Date: 9 January 2025

(SSA No.02-24 は絶版となります)

以下の海域で運航中、又は運航予定の弊旗国籍船舶主、及び運航者の皆様は、本船舶保安通知書を(該当船に)速やかに配布、(内容についてご理解)ご共有を願います。

- Arabian/Persian Gulf;
- Arabian Sea;
- Gulf of Oman (GoO); or
- Strait of Hormuz (SoH);

高まる軍事行動、及びこれらの地域における地政学的緊張が(この海域を航行する)商船に深刻な脅威をもたらしています。これらの海域を航行する船舶は警戒レベルを高め、維持して下さい。

1.0 最新情報

1.1 アフリカホーン海事安全センター(MSCHOA)は、インド洋海事安全センター([MSCIO](https://mscio.eu/) : <https://mscio.eu/>)に改称。ウェブリンク並びに連絡先を含むこの変更は本船舶保安通知書に反映されています。

1.2 Appendix A(連絡先)を廃版。記載の連絡先情報はGlobal Maritime Security Contacts ([MARSEC-210](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/MARSEC-210.pdf) : <https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/MARSEC-210.pdf>)に記載。

1.3 2024年12月16日から17日にかけてバーレーンで開催された第52回 [SHADE \(Shared Awareness and Deconfliction\)](https://eunavfor.eu/news/52nd-shade-conference-bahrain) 会議(<https://eunavfor.eu/news/52nd-shade-conference-bahrain>)において、紅海地域(上記の海域を含む)における商船の登録・通報の一次窓口を英国海運貿易オペレーション(United Kingdom Maritime Trade Operations: UKMTO)が務めることが合意された。MSCIOは同地域における第二の窓口となる。§6.0を変更。

本船舶保安通知は、毎年弊局によって審査され、特段の記載が無い限り、また置き換え、取り消しが無い限り、発行・更新から1年後に失効します。

SSA No. 03-25J

1/6

注) 本和訳をご参照頂き易い様に用意されたものでマーシャルアイランド海事局発行の公式文書ではありません。本和訳とマーシャルアイランド海事局発行の公式英語版内容に齟齬が生じた場合は常に英語版を正とします。

本改正に拠る変更箇所を赤字で示します。

2.0 脅威と危険度について

2.1 (非多国籍)軍、又は非国家主体勢力による拿捕

- .1 アラビア海、ペルシャ湾、ホルムズ海峡、及びオマーン湾を航行する商船は過去数年間に以下のインシデントを含む(非多国籍)軍による乗船、拘留、或いは拿捕を受けてきました:

2024	2023	2022	2021	2020	2019
RMI籍タンカー マデイラ籍コンテナ船	パナマ籍タンカー RMI籍タンカー	ギリシャ籍タンカー 2隻	パナマ籍タンカー 韓国籍タンカー ベトナム籍タンカー	ドミニカ籍タンカー リベリア籍タンカー	英国籍タンカー

- .2 非多国籍軍は小型艇、或いはヘリコプターで本船に乗り込みをし、(安全運航の)妨害や攻撃的な行為で自国領海に(武力制圧した)船舶を向かわせます。

2.2 その他の脅威

- .1 機雷や、リムペット(貝殻型機雷)、無人航空機、急拵えの水中爆発物、対船ミサイル、及び小火器による脅威は、この海域、特にオマーン湾、アラビア海では無視できません。

3.0 多国籍軍

- 3.1 [Global Maritime Security Contact \(MARSEC-210\)](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/MARSEC-210.pdf) : <https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/MARSEC-210.pdf> に、多国籍軍リスト、連絡の為の案内を纏めています。

- 3.2 (当該海域を航行する)船舶は、米国及び多国籍軍が海上状況把握、問い合わせ、及びアラビア/ペルシャ湾、ホルムズ海峡、オマーン湾、及びアラビア海を航行する船舶の安全確保の為に(貴船に)交信を行う事があります。ご理解をお願いします。本船が非実在的発信者(米国及び多国籍軍以外)からの送信を受けていると疑いを持った場合は、即座に米国又は多国籍軍、及び英国海運貿易オペレーション(UKMOT)に通報を行って下さい。

SSA No. 03-25J

- 3.3 当該海域を航行する船舶は英国海運貿易オペレーション(UKMOT)、及びアメリカ海軍中央司令部USNAVCENT (NATO提唱による)の海軍協力と海運指針(NCAGS) 両組織への(貴船の)登録及び位置情報email(下記§6.0「自発的報告計画」内連絡先Global Maritime Security Contacts (MARSEC-210 : <https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/MARSEC-210.pdf>)参照)を含む連絡方法を整備して下さい。それぞれのemailに両組織の宛先を入れる事で、(それぞれの組織に)追加メールを発信する事なく、(両組織が本船の置かれた)状況を同時共有することが出来ます。

4.0 非多国籍軍

- 4.1 非多国籍軍(と思われる発信者)から接触があった場合、船名、船籍国、及び「本船は国連海洋法条約(UNCLOS)に則った国際法に基づき航行中」であると返信し、直ちにUKMTOに船長報告を行って下さい。定型的な返信、及び(この対応に関する)追加ガイダンスを記した”bridge cards” (§8.3) もご参照下さい。
- 4.2 非多国籍軍(と思われる発信者)が乗船、或いは針路、航行速度の変更求めてきた場合、船長はこれを拒否し、「本船は国連海洋法条約(UNCLOS : ”bridge cards” (§8.3)参照)に則った国際法に基づき航行中」と返信、直ちにUKMTOに報告を行って下さい。
- 4.3 非多国籍軍が乗船した場合、直ちに米国中央海軍司令部)US NAVCENT)戦闘監視部(Battle Watch)に報告を行い、乗組員は乗船者に対し抵抗することを控えてください。抵抗を控える事が(無断)乗船を認めたことにはなりません。

5.0 危険緩和対策

- 5.1 この海域を航行する場合は以下の対策を取ってください:

- 1 [弊旗国要求](https://www.register-iri.com/maritime/maritime-security/)(<https://www.register-iri.com/maritime/maritime-security/>)として、本船がオマーン湾、ホルムズ海峡、或いはアラビア海にあってはShip Security Level 2 (もしくは港内における同等の警戒レベル)を実施。
- 2 [BMP Guideline](https://www.maritimeglobalsecurity.org/geography/global/) (<https://www.maritimeglobalsecurity.org/geography/global/>)の検討及び導入(可能な範囲で)。
- 3 慎重な航海計画とそれに伴う危険評価の実施。

SSA No. 03-25J

- .4 危険評価、及び事前保安対策実施後、本船保安計画の見直し、及び改正。
- .5 イラン沿岸より可能な限り距離を取った航行。
- .6 石油会社国際海事評議会(OCIMF)発行図書「[Loitering Munitions - the Threat to Merchant Ships](https://www.ocimf.org/document-library/854-loitering-munitions-the-threat-to-merchant-ships-1/file)」
(<https://www.ocimf.org/document-library/854-loitering-munitions-the-threat-to-merchant-ships-1/file>)
及び「[Ship Security: Hull Vulnerability Study](https://www.ocimf.org/publications/information-papers/ship-security-hull-vulnerability-study)」(<https://www.ocimf.org/publications/information-papers/ship-security-hull-vulnerability-study>)の検討。
- .7 NATO発行図書「[ATP-02.1 NCAGS Guide to Owners, Operators, Masters and Officers](https://shipping.nato.int/systems/file_download.ashx?pg=692&ver=2)」
(https://shipping.nato.int/systems/file_download.ashx?pg=692&ver=2) 第4章の検討
- .8 危険度が高まる海域へ入る前の保安、及び消火訓練の実施。
- .9 小型艇接近に対する船橋総員による用心深い監視の維持。
- .10 VHFや他の会話チャンネルの監視。
- .11 多国籍軍組織([UKMTO](https://www.ukmto.org/) : <https://www.ukmto.org/>, EUNAVFOR, [MSCIO](https://mscio.eu/) : <https://mscio.eu/>, CMF, 及び US NAVCENT)からの助言/指示に従う。

5.2 アラブ首長国連邦(UAE)、フジャイラ以北航行時の民間武装警備隊(PCASP)乗船は避ける。

5.3 船長はSOLAS/Regulation V/34.1に従い海上における人命の安全、及び海洋環境保全の為に必要な職業上決断を下す事が出来、その決定を(何人も)妨げる事があってはならない。船長が(迫る)脅威を軽減させ、本船の安全もしくは保安が確保できると判断すれば、AISの遮断も可。

([IMO Assembly Resolution A.1106\(29\)/§22](#) :

[https://www.wcdn.imo.org/localresources/en/OurWork/Safety/Documents/AIS/Resolution%20A.1106\(29\).pdf](https://www.wcdn.imo.org/localresources/en/OurWork/Safety/Documents/AIS/Resolution%20A.1106(29).pdf) 参照)。

SSA No. 03-25J

6.0 自発的報告計画

6.1 UKMTO VRAを航行する船舶はUKMTOの自発的報告計画を利用：

.1 UKMTOに登録、報告。(報告書式：<https://www.ukmto.org/reporting-formats>)

6.2 オマーン湾、ホルムズ海峡、及びアラビア/ペルシャ湾に於いては、以下にご注意ください：

- .1 (この海域内で)利用/適用が可能な自発的報告計画を取り入れる事で(当該海域に於ける)多国籍軍と直接交信(できる環境)を維持。
- .2 UKMTOの自発的報告海域(VRA)に入る24時間前にUKMTO及びUS NAVCENT NCAGSへ同時に登録し、[BMP5 Appendix D](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/BMP5-June-2018-1.pdf)：<https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/BMP5-June-2018-1.pdf>に従ったInitial reportをemailにてUKMTO及びUS NAVCENT NCAGSに単一メールで送信。(報告書)10項のスエズ運河、バブ・エル・マンデブ海峡、及びホルムズ海峡到着予定時間、及び、必要に応じて14項を加え、付記すべきコメント、例えば本船の速度制限について、或いはその他の制約、ホルムズ海峡一分離通航計画に基づく同航路への進入、離脱の時間、ホルムズ海峡、ペルシャ湾、及び他海域航行計画の概要、他。必要に応じてBMP5 Appendix Dに含まれる他の報告も行う。
- .3 [船位報告書式](https://www.ukmto.org/reporting-formats) (<https://www.ukmto.org/reporting-formats>) でUKMTOへ毎日報告。

7.0 インシデント又は(他船/未確認局による)不審な行動に対する報告

7.1 インシデント、又は不審な行動に遭遇した場合はUKMTOに連絡。

7.2 緊急事態発生時には船舶警報通報装置(SSAS)を作動させ、電話+973-1785-3879, 米国中央海軍指令部)US NAVCENT) 戦闘監視部(Battle Watch)へ通報。

7.3 全ての保安に係るインシデントは弊局、電話+1-571-441-1885、marsec@register-iri.com 及び dutyofficer@register-iri.com にご報告下さい。

SSA No. 03-25J

8.0 補足情報

- 8.1 [Maritime Global Security](https://www.maritimeglobalsecurity.com/) (https://www.maritimeglobalsecurity.com/) websiteは、[BMP5](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/BMP5-June-2018-1.pdf): (https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/BMP5-June-2018-1.pdf)を含む(海上保安に係る)海事業界最良の事例(ベストプラクティス)を提示、海事従事者の為の地域(情報)、(船舶が非常時に遭遇した場合)の連絡先、(計画航行)海域に於ける海上保安報告センターの情報を提供。上記海域航行前にBMP5、及びMaritime Global Security websiteへ(海域情報)確認を行って下さい。
- 8.2 国際海運業界団体(ISIA)は、アラビア/ペルシャ湾、及びオマーン湾を含むホルムズ海峡区を航行する船舶の新しい自発的航路の[通航アドバイス](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/2024-09-24-INTERIM-INDUSTRY-TRANSIT-ADVICE-SRS-GoA-SSA-01-24.pdf)(https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/2024-09-24-INTERIM-INDUSTRY-TRANSIT-ADVICE-SRS-GoA-SSA-01-24.pdf)を発行しています。この航路を利用することで、多国籍軍はより効率的に人員(艦船)配置を行い、ホルムズ海峡を航行する船舶の支援をすることが出来ます。
- 8.3 JMICは中東地域航行用に新しい“Bridge Emergency Reference Cards” (非常用簡易参照) ガイドを発行しています。新しい“Bridge Emergency Reference Cards”はプリントアウト用、電子媒体用、2種類入手可能です。
- .1 [プリントアウト用](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/JMIC-Bridge-Emergency-Reference-Cards-Middle-East-Print-Rev27Dec2024.pdf) (https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/JMIC-Bridge-Emergency-Reference-Cards-Middle-East-Print-Rev27Dec2024.pdf)
 - .2 [電子媒体用](https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/JMIC-Bridge-Emergency-Reference-Cards-Middle-East-Digital-Rev27Dec2024.pdf) (https://www.register-iri.com/wp-content/uploads/JMIC-Bridge-Emergency-Reference-Cards-Middle-East-Digital-Rev27Dec2024.pdf)
- 8.4 弊局 [Maritime Security](https://www.register-iri.com/maritime/maritime-security/) (https://www.register-iri.com/maritime/maritime-security/) も併せてご利用ください。

SSA No. 03-25J

6/6

注) 本和訳をご参照頂き易い様に用意されたものでマーシャルアイランド海事局発行の公式文書ではありません。本和訳とマーシャルアイランド海事局発行の公式英語版内容に齟齬が生じた場合は常に英語版を正とします。

本改正に拠る変更箇所を赤字で示します。